

学校だより アンケート特集号

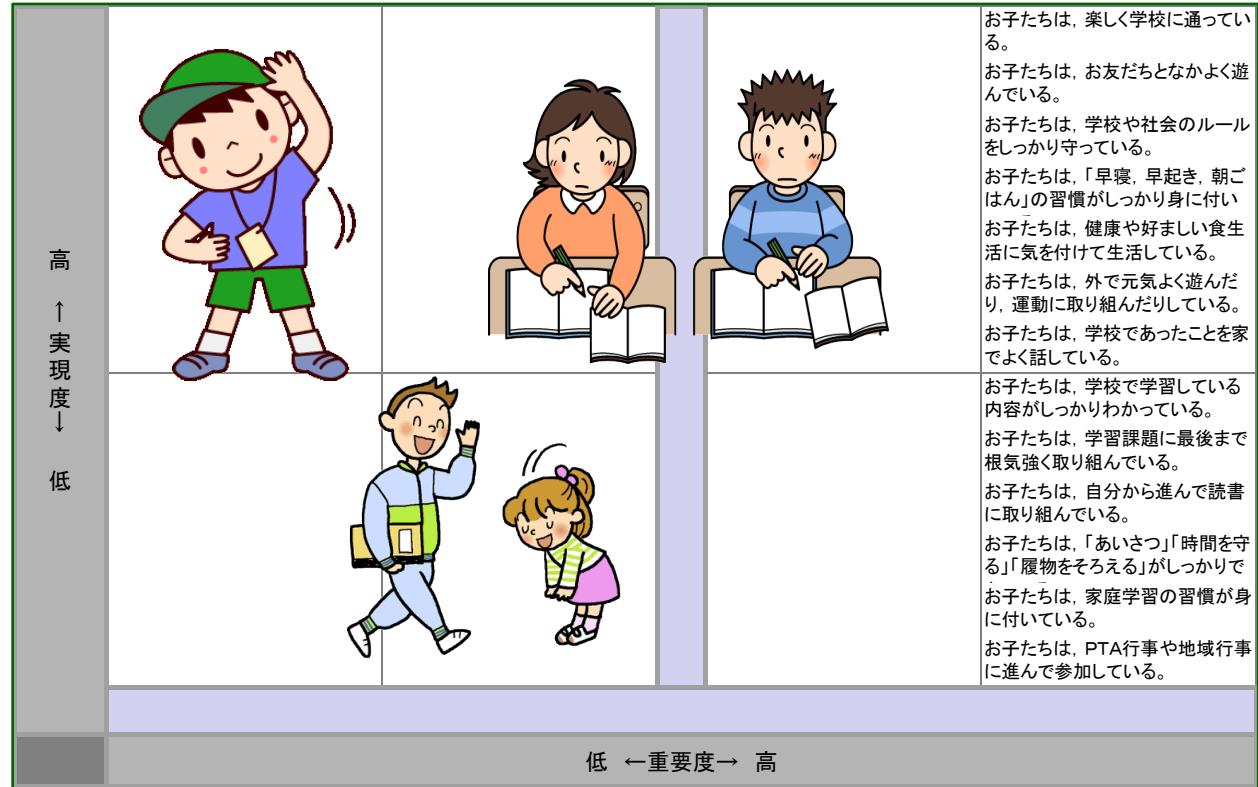
令和2年2月
京都市立桂東小学校
校長 志村光司

12月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が出ましたので、お知らせいたします。

児童に対するアンケートは発達段階を考え、実現度のみを回答していますが、今回も保護者の皆様には、重要度と実現度の2つについて段階をつけてお答えいただいている。

これは『大切であるのに、現実には出来ていないこと』を浮かび上がらせ、改善の指針とさせていただきたいと存じます。(アンケート回収数 439件)

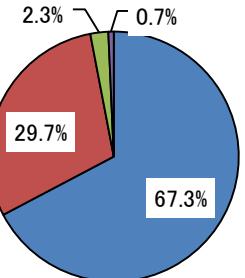
＜分布図＞



ます。来年度から新しい教育課程も完全実施されます。学習においては、子どもたちが主体的に問題解決にあたる学習過程を重視、工夫することで授業を組み立て、子どもたちの学力向上につなげていきたいと考えております。

【重要度】

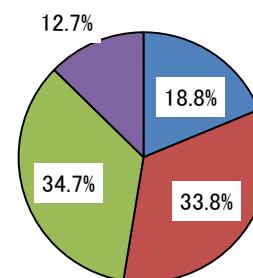
お子たちは、自分から進んで読書に取り組んでいる。



- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

【実現度】

お子たちは、自分から進んで読書に取り組んでいる。

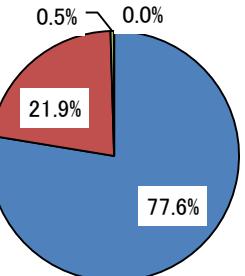


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

なかなか読書に慣れ親しむ習慣が身に付きにくいです。テレビやコンピュータゲームなど、作られた映像や物語を受動的にこなすより、文章の内容からイメージすることで創造力が育っています。子どもたちができるだけいろいろな本に触れられるように、毎年図書の購入を行い、委員会活動やクローバーの会(図書ボランティア)の方による読み聞かせなど、楽しく読書に親しむ取り組みも続けております。まだまだ工夫の余地はあると思います。今後も、子どもたちの多読に向けて、いろいろ工夫して取り組んでまいりたいと思っております。

【重要度】

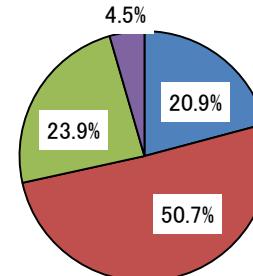
お子たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。



- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

【実現度】

お子たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。

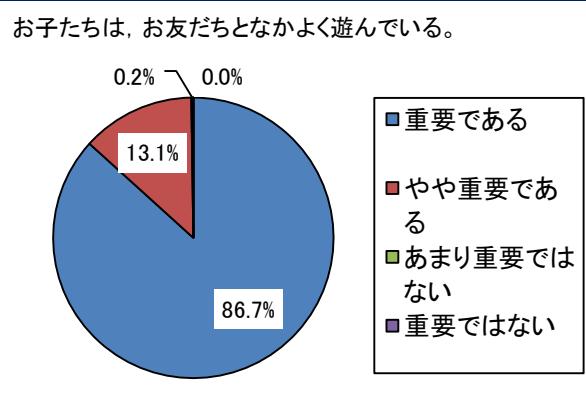


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

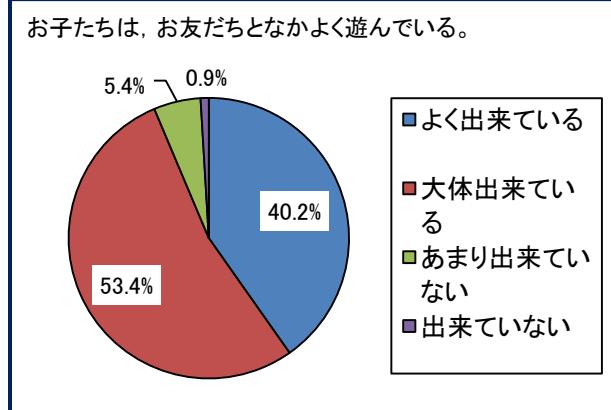
実現度が「よく出来ている」と「出来ている」を合わせた肯定的な回答が前期は、71.4%であったのに、後期は71.6%とほぼ横ばいです。“家庭学習”とは高学年なら、学習ノートの活用によって、学校と家庭との学習を連動させていくのも一つの方法だと思います。ノートの書き方や課題の選び方、答え合わせの方法、さらには学習計画の立て方など、担任にもご相談いただき、お子たちの学びの意欲につなげていければ幸いかと思います。

よく出来ていること

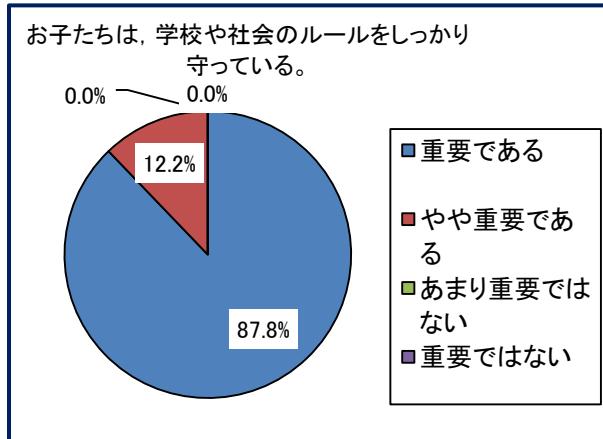
【重要度】



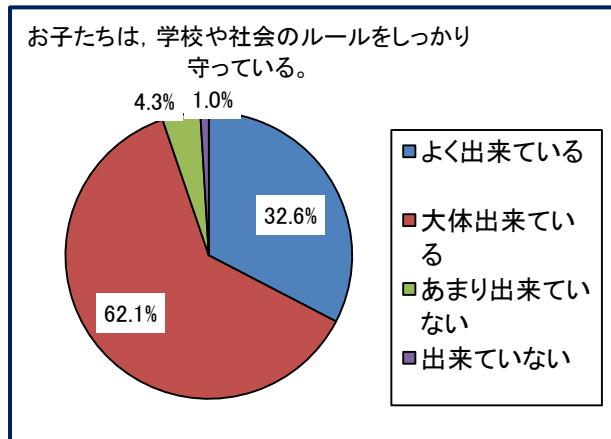
【実現度】



【重要度】



【実現度】



児童アンケートの「友だちと何かよく遊んでいる。」の実現度の「よく出来る」と「大体出来ている」とを合わせた肯定的な回答は低学年は94.5%，中学年は97.3%，高学年は96%と良好な結果になっています。保護者の実現度も良い結果が出ており、保護者の皆様から見ても良好な友だち関係が築けていることを嬉しく思います。保護者アンケートの「お子たちは楽しく学校に通っている。」の実現度も高くなっています。この結果から、子どもたちにとっても「学校はたのしい。」にリンクしてくる重要な要素でもあります。学校でも家庭でも、日頃から気軽に話し合える雰囲気づくりが大切だと思います。手は離しても、子どもから目は離さないようにして、子どもの変化に敏感になっていきたいと思います。

「お子たちは、学校や社会のルールをしっかり守っている。」では、保護者アンケートでも実現度が高くうれしく思います。ルールをみんながしっかり守ると、だれもが安心・安全に過ごせ、充実した学校生活を送ることができます。そのことが「ものを大切にする。」「命あるものを大切にする。」ことにつながっていきます。そして、だれもが穏やかな気持ちになり、人を思いやる心も育っていきます。子どもたちは大人の後ろ姿をよくみていると思います。気をつけていきたいと思います。

自由記述欄に関しましては、

保護者の皆様の記述の中から関連するものを抜粋しました。

- 5年生では騎馬戦がなくなりましたが、6年生での組体操はなくさないでください。何かを決める際には事前に知らせてほしいです。
- 運動会で午前の部が終ったあと、保護者等も引き上げる方が多かったですが、その折、折りたたみイスやシートをそのまま置いて帰り、午後にまたその場に座っておられる方が多かったように思います。体が不自由などの事情はいろいろあるかと思いますが、それらを除き、みんな、だれでも自分の子や孫を見たいのは同じなのだから、学校の放送でもあったようにゆずり合いの心は必要ではないでしょうか？参観席の場所とりはやめた方がいいと思います。
- 運動会で、6年生が組体操を、5年生は騎馬戦をする上級生の姿を見て、低学年の頃から憧れていたので、今年騎馬戦がなくなった事は残念におもいました。変更する理由もとてもよく分かりますが、ずっと続けていた競技だっただけに、もう少し子どもたちの意見も聴きながら決定していただきかったです。
- 部活も楽しく参加させて頂き、学校生活を頑張れる原動力にもなっています。また、先輩たちを身近に感じ、大きな憧れを抱けています。なりたい自分が自分の目で見え、具体的に思い描けることは素晴らしいなと思います。いつも、ありがとうございます。
- どの項目も健全な小学校生活において大切なことばかりだと思いました。偏った日常行動をこの機会に見直す事で、さらに健康で生き生きした生活が出来るよう、サポートしたいと思いました。いつもありがとうございます。
- 母親が仕事をしている家庭が増えている現代にPTAのあり方も変化があってよいと思います。特に、ベルマーク活動は時間のムダが多く、学校運営費が不足しているのであれば、PTA会費を毎月数百円追加して、PTAの仕事を減らす方が良いのではないかでしょうか。
- 重要度では“重要である”にチェックをしているのに、実現度では「出来ていない」という項目が多くありました。親自身も出来てないことが多く、子は親を見て育つので、仕方ないと感じる反面、今後気をつけていきたいと感じました。
- 私も卒業生ですが、桂高校のお兄さん、お姉さんに野菜のことを教えてもらったり、桂離宮に勉強に行ったりと地域を存分に活かした学習をしていて、うらやましい限りです。
- トラブルがある時に、いつも親身になってお話を聴いて頂き、ありがとうございます。また、必要な時は学年間などで共有して頂いたりと、しっかりと子どもの過ごしやすいようにと学校での配慮がとてもありがたく、安心して学校に通わせることができます。これからもよろしくお願ひいたします。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。様々な課題や今後も伸ばしていきたい桂東の魅力などを知るうえで、大きな指針となりました。また、アンケートの裏面の自由記入欄に記入いただいた事項に関しましては、教職員及び学校運営協議会理事の方とも協議して、今後の学校運営に反映させていきたいと思っております。